

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1109		
科目名	文学 1		
担当教員	山崎 真紀子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 1		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2進期～3発展期		
科目概要・キーワード	授業概要：本授業は、明治期から大正期までの日本文学について、具体的なテキストの読解を通して考察していきます。文学は、政治・経済・文化の諸ジャンルとの交錯の中で構築されてきました。ここでは文学作品だけでなく、法制度や経済についての言説、演劇や美術、広告のコピーなど様々な表現を取り上げ、多角的な視点で明治・大正期の文学を読む力を身につけることを目標とします。授業形態は講義により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。 キーワード：言語的コミュニケーション・コミュニティと文化の多様性・内容理解・解釈・言葉選び・内容の構造化		
授業の趣旨	■ 副題 文化的素養と市民的教養を修得し大学生活を送るうえで必要な言語的コミュニケーション、分		

	析力、表現力、書く力を身につける。 ■授業の目的 日本の精神文化を理解し、多様な価値を受容する能力を養うのに必要な分析力、探求力、表現力、対話力を修得し、他者理解能力など市民生活や大学生活を送るうえで必要な能力を身につける。 ■授業のポイント 日本近代文学の作品を読むことを通して、総合的な日本語力と読解力、文脈に応じて言語を理解する内容理解力、分析力を習得する。文学作品を通して想像力を養い、文化的多様性を理解する。						
総合到達目標	■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本文学の基礎知識と、作品の読解方法を理解する。 ・日本近現代文学の作品を読み、文脈を的確に読解することができる。(2～13回) ・作品の文体や表現方法、背景を具体的に説明することができる。(2～13回) ■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本文化・異文化の理解を深め、物事を多角的に捉える態度を習得する。 ・文学作品から、時代・環境・年齢・性別など自分と異なる立場の人間の感情や問題を読み取り、多様な視点で物事を考察することができる。(2～13回) ・文学作品の読解を通して、日本の精神文化を理解し、説明することができる。(2～13回) ■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、作品を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。 ・文脈に応じて言語の持つ意味を正確に理解し、的確な言葉を用いて文章を記述することができる。(5,9,14 回) ・自分の考えを形成し、他者に正確に伝える力を身につけて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。(2～15回)						
成績評価方法	■毎回の授業時課題（50％）：適用ルーブリック A1・A2・I2・K2 （評価の観点）授業をよく視聴し、理解できているかどうかを見ます。文学作品の読解力と時代背景、文化、習俗の理解、語彙力、言葉を正確に読む力を問います。日本文化と自国の文化の理解度がなされているかを評価とします。 （フィードバックの方法）提出後の授業時の冒頭にフィードバックします。 ■リアクションペーパー（50％）：適用ルーブリック D1・I1・K1 （評価の観点）文学作品の内容理解、文理構造の分析、解釈、文脈の理解などが正確になされているかを問います。答案の表現が適切かどうかを評価します。 （フィードバックの方法）提出の翌週の授業時に講評します。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	教科書は必ず持参してください。持たないで受講しても理解できません。また朗読しておくことが必要です。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ イントロダクション、作家案内 ②授業概要 樋口一葉という作家がどのような作家であったのかを説明を受ける。(D1) 成績評価の方法について確認する。(A1、A2) ③予習(120分) 指定された教科書から関心のある小説を1作品読む。 ④復習(120分) 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 明治期の文学、樋口一葉『十三夜』をよむ。 ②授業概要 明治20年代末に発表された、文語体で書かれた樋口一葉の『十三夜』の冒頭の20行の説明を受ける。(K2) 作中に描かれている明治期の時代状況、特に婚姻制度、家族制度、家屋構造の説明を受ける。(A1、A2、D1) ③予習(120分) 『十三夜』全編を読んでくる。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ イントロダクション、作家案内 ②授業概要 樋口一葉という作家がどのような作家であったのかを説明を受ける。(D1) 成績評価の方法について確認する。(A1、A2) ③予習(120分) 指定された教科書から関心のある小説を1作品読む。 ④復習(120分) 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。	2	①授業テーマ 明治期の文学、樋口一葉『十三夜』をよむ。 ②授業概要 明治20年代末に発表された、文語体で書かれた樋口一葉の『十三夜』の冒頭の20行の説明を受ける。(K2) 作中に描かれている明治期の時代状況、特に婚姻制度、家族制度、家屋構造の説明を受ける。(A1、A2、D1) ③予習(120分) 『十三夜』全編を読んでくる。
回	内容						
1	①授業テーマ イントロダクション、作家案内 ②授業概要 樋口一葉という作家がどのような作家であったのかを説明を受ける。(D1) 成績評価の方法について確認する。(A1、A2) ③予習(120分) 指定された教科書から関心のある小説を1作品読む。 ④復習(120分) 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。						
2	①授業テーマ 明治期の文学、樋口一葉『十三夜』をよむ。 ②授業概要 明治20年代末に発表された、文語体で書かれた樋口一葉の『十三夜』の冒頭の20行の説明を受ける。(K2) 作中に描かれている明治期の時代状況、特に婚姻制度、家族制度、家屋構造の説明を受ける。(A1、A2、D1) ③予習(120分) 『十三夜』全編を読んでくる。						

	④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
3	①授業テーマ 明治期の文学、樋口一葉『十三夜』をよむ。 ②授業概要 前回に引き続き樋口一葉の『十三夜』の（上）の説明を受ける。（K2） 作中に描かれている明治期の時代状況、文化、風俗、住む地域による違いなど作品を理解するための解説を受ける。（A1、A2、D1） （I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 『十三夜』全編を2度読む。登場人物の状況を説明する文をノートに書く。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着をはかる。
4	①授業テーマ 明治期の文学、樋口一葉『十三夜』をよむ。 ②授業概要 樋口一葉の『十三夜』（下）の説明を受ける。作中に描かれている明治期の時代状況、特に身分制度の廃止、学問をつけることによる出世など文脈にそった解釈の説明を受ける。（A1、A2、D1） 登場人物の状況を説明する文をノートに書く。（I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 『十三夜』全編を朗読し、会話文、地の文の境目にチェックを入れておく。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着をはかる。
5	①授業テーマ 明治期の文学、樋口一葉『十三夜』をよむ。 ②授業概要 樋口一葉の『十三夜』（下）を読む。（K2） 当時の時代状況、文化、風俗、教員が朗読した部分の言葉の意味、文脈にそった解釈の説明を受ける。（A1、A2、D1）。前回ノートにまとめたものを深めて、文章の構成や誤字脱字に留意してリアクションペーパーを仕上げて提出する。 ③予習(120分) 『わかれ道』全編をもう一度読み、あらすじを書く。 ④復習（120分） 説明を受けた内容をノートにまとめる。
6	①授業テーマ 『十三夜』のリアクションペーパーの講評、学修した内容のポイントを振り返る。終了後、樋口一葉『たけくらべ』に入る。 ②授業概要 『十三夜』のリアクションペーパーの書くべきポイントや書き方の注意点などの講評、終了後に樋口一葉『たけくらべ』（一～二）の解説を受ける。描かれている地域の土着的文化、生活様式など当時の時代状況、言葉の意味など文脈にそった解釈の説明を受ける。（A1、A2、D1） ③予習（120分） 『たけくらべ』二度読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。 樋口一葉『たけくらべ』（一～二）を読む。
7	①授業テーマ 樋口一葉『たけくらべ』を読む。 ②授業概要 樋口一葉『たけくらべ』（三～六）を読む。当時の時代状況、文化、風俗、教育制度、言葉の意味、文脈にそった解釈の説明を受ける。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。（A1、A2、D1） ③予習（120分） 『たけくらべ』読んでわからない言葉を辞書で調べる。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
8	①授業テーマ 樋口一葉『たけくらべ』（七～十）を読む。 ②授業概要

	樋口一葉『たけくらべ』（七～十）を読む。登場人物の子どもたちが通う「学校」という場に注目し、当時の諸制度を学び、文脈にそった解釈の説明を受ける。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。（D1、I1） ③予習（120分） 『たけくらべ』をリズムと切れ目に注意して全編の朗読する。わからない言葉の意味を調べておく。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙をノートにまとめ、難しい言葉の知識の定着を図る。
9	①授業テーマ 樋口一葉『たけくらべ』（十一～十三）を読む。 ②授業概要 樋口一葉『たけくらべ』（十一～十三）を読み、描かれている境界の登場人物の移動に注目し、そこに込められている意味、ねらいなど解釈の説明を受ける。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。（D1、I1） 内容把握を問うリアクションペーパーを提出する。（k1） ③予習（120分） 『たけくらべ』全編のあらすじを書き、全編の内容把握する。 ④復習（120分） 学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
10	①授業テーマ 樋口一葉『たけくらべ』（十四～十六）を読む。リアクションペーパーの講評をする。 ②授業概要 前回提出されたリアクションペーパーの留意点など講評をする。樋口一葉『たけくらべ』（十四～十六）を読み、子どもの時間から大人の時間へと変わっていくことの意味を作品を通して理解する。そして、なぜ本作が名作として世に残っているかの解説を受ける。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。（D1、I1） ③予習（120分） 『たけくらべ』後半部分を朗読する、全編の内容を把握する。 ④復習（120分） 学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
11	①授業テーマ 大正期の文学作品、田村俊子『枸杞の実の誘惑』を読む。 ②授業概要 大正期の時代状況、文化、風俗などの解説を受け、明治期から大正期への文体の変遷について解説を受ける。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。（A1、A2、D1） ③予習（120分） 田村俊子『枸杞の実の誘惑』を2度繰り返し読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
12	①授業テーマ 大正期の文学作品、田村俊子『枸杞の実の誘惑』を読む。 ②授業概要 田村俊子『枸杞の実の誘惑』前半部を読む。男女によつての遊びの差異、世間のまなざしなどジェンダー的視点での読解を解説する。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。（A1、A2、D1、I1、I2、K1） ③予習（120分） 『枸杞の実の誘惑』を読み、難しい言葉を辞書で調べておく。 ④復習（120分） 作品全編をもう一度熟読し、講義で学んだ読む方法を復習し、知識の定着をはかる。
13	①授業テーマ 田村俊子『枸杞の実の誘惑』を読む。 ②授業概要 『枸杞の実の誘惑』後半部を読み、小説の最後に残された謎を、読者に伝える表現法としての省略法とその効果の解説を受ける。教員が朗読するのをテキストを追って、よく聞き取る。生得的だと思われていた男女の差異が、実は何によって構築されているかを学ぶ。（D1、I1） ③予習（120分）朗読する。 作品を二度読んで、現在の考え方と異なる点や読んだ後の意見をノートに書いてくる。

	④復習（120分） 授業時のノート振り返り、ジェンダー的視点の復習として、関連した書物を読む。
14	①授業テーマ 田村俊子『枸杞の実の誘惑』を読む。作家・田村俊子のジェンダー的視点およびコスモポリタンの視点を学ぶ。 ②授業概要 これまで読んできた明治期の樋口一葉の作品と大正期の作品であるとの比較考察を行い、作家による生活空間の異なりや思想、時代状況の変化などを学ぶ。また、現代の語彙の変遷について考察し、文章の変遷、文体の多様性を振り返り、その流れと特色を理解する。文語体と言文一致体の違いを理解する。自分の意見をコメントペーパーにまとめ、提出する。（D1、I1） ③予習（120分） 樋口一葉の文章の特色と『枸杞の実の誘惑』の文章の特色に注意して、意見をノートに書いてくる。 ④復習（120分） 予習の際に意見を記したノート振り返り、明治期の文章と大正期の文章の差異を予習時のノートに加筆訂正する。
15	①授業テーマ コメントペーパーの講評、および講義のまとめ。 ②授業概要 これまで読んできた作品を振り返り総復習をする。前回提出されたコメントペーパーの講評を行う。（A1、A2、D1、I1、K1）。 ③予習（120分） 選んだ作品を何度も朗読する ④復習（120分） 文学が社会や文化の中でどのような役割を果たしていたのか、考察してノートに記す。もう一度朗読する。
関連科目	文学2（RMGT/SSCS 1110）
教科書	『樋口一葉小説集』ちくま文庫、2005年10月（ISBN4-480-42102-5）1000円＋税 他、授業時の配布プリント
参考書・参考URL	授業内でプリント配布。および必要に応じてお伝えします。
連絡先・オフィスアワー	開講時お知らせします。
研究比率	

